



羽ばたけ！ TUT2021“Study Abroad ONLINE”報告会

電気・電子情報工学課程 4年
中川竜希

Monash College “Global Communication for Future Leaders Program”

🔊 ナッシュカレッジ



- ・ オーストラリア メルボルン州
 - ・ 学部生 39,000人
 - ・ 薬学・ビジネス・理工

🔊 留学準備

受講の目的

- ・ 英語を上達させ、外国人と趣味について話したり、海外映画を字幕なしで見れるようになりたい。
- ・ 研究が本格化する前に何かに挑戦してみたい。
- ・ 地元や豊橋以外にも友達ができるかもしれない。

受講の準備

- ・ TOEICスコアが足りなかったためDuolingoを受講
- ・ メールアドレスの作成
- ・ 学校用アカウントやパスワードの設定
- ・ モナッシュカレッジの教員との面接
→その結果でクラスが決定

🔊 研修概要

オンラインでの授業



Google Docs

- ・ Zoom、Googleドキュメントを用いたオンライン授業
- ・ 8/16から9/3までの平日3週間
- ・ 10時半～12時半、13時半～15時半の二本立て
- ・ 生徒が約15人に対して先生が一人。隔週クラス替えあり
- ・ 日本人以外にも韓国の学生が参加

研修概要

授業内容



- 授業は資料や講義、作成する文章や雑談もすべて英語
- 環境問題やCOVIT-19、文化の違いについて
- 各国のマナーやスモールトークなど
- ブレックアウトルームを利用し、チームに分かれてプレゼンを作ったり、ロールプレイをしたり

研修概要

課外活動



- 現地学生との趣味を介した交流イベント
- 日本語学科のクラブと交流
- パートナーとの継続的な交流
→相手パートナーが忙しく、週1で電話するくらい

結果

学んだこと

- 英語力がついたというより、英語に対する苦手意識が小さくなった
- 英会話における、リアクションや相槌などの大切さ、ジェスチャーやポスターを学び、意識して行っていた
- 各国の文化、コロナ禍での現状について知ることができた

留学と比較したときのメリット・デメリット

- 受講費用が安く、短期で受け入れを行っている。
- 生活様式を合わせる必要もない。
- 移動や住居のコストもかからない。必要なのはネット環境のみ。
- 実際に文化を体験することができない。
- 英語を話すようになるための環境として弱い。

総括

目的

英語を上達させ、外国人と趣味について話したり、海外映画を字幕なしで見れるようになりたい。友達を作りたい。

目的の達成度

- ✓ 英語が話せるようにはならなかった。が、ジェスチャーなどによってコミュニケーションはとれた。共通の趣味があればかなり話はずんだ。
- ✓ 友達は、、、できたが、また会うかはわからない。

3週間で得られたものとしては大きい。もっと様々なことに挑戦したいと感じた。

今後の活動目標

- ✓ イベントに参加するなどして、今後も積極的に英語に関わっていく
- ✓ TOEICのスコア730点を目標して勉強する。
- ✓ コロナ収束後は一人で海外旅行に行きたい。

グローバルで活躍できる人材となるためというよりは、今後自分の生活をより豊かにするために英語を学んでいきたい。